

# からきだの道の自然

## 失われた雑木林

唐木田地区は東西に多摩丘陵の主尾根と府中カントリークラブ側の丘陵の雑木林に囲まれたのどかな谷戸でした。しかし、昭和58年多摩ニュータウン事業の新住事業(丘陵部)と区画整理事業(集落部)一体の宅地造成工事により、丘陵部の二次林のほとんどが失われました。



昭和62年造成中のからきだの道南側 昭和63年造成後の東側の遠望。奥は府中カントリーの森と残された緑 平成3年お花見広場から西方を望む。右は府中カントリーの森

## 残された雑木林と回復されつつある緑

からきだの道予定地(約5ha)のうち、府中カントリーの東側はほとんど雑木林で、ここには「寺ノ入の湧水」があり雑木林とともに保全されました。このうち0.7haはからきだの道のために府中カントリーから有償譲渡され、また南側はほとんどが戸建住宅地の造成により生じた斜面や法面地でした。これらの造成地は新たに植栽されましたが、近年、クロマツやサワラなどの早期緑化木の衰退、枯損が進み、それに代わって付近の雑木林からのクヌギ、コナラなど実生が育ちつつあります。

## かつての自然

「落合名所図絵」の中で著者峰岸松三氏は唐木田を含む旧落合の自然について次のように懐古されています。(一部原文抜粋)

### 植物

通常に山と言われている所は檜が多く、その中にクヌギや栗、榎、山桜、ソコ、椎、エゴ、ホウ、ネムの木、コブシ、山モミジ、ツツジ、山桑、小竹、矢ガラ篠でウツギは土地の境木として多くあり…。

### 生きもの

野山にはムジナ、山兎、タヌキ、キツネ、テン、イタチ、ムササビなどが谷戸の奥深い所に棲み、目白、山ガラ、ウグイスが家の近くで鳴音を競う頃、丘の麦畑ではヒバリが春を告げ、軒にはツバメがきて巣作りを始める。  
…川の中では、メダカ、ハヤ、ドジョウ、鮒や鯉が泳ぎ、ウナギ、ナマズ、モクガニもいた。

### 一口メモ③

唐木田駅辺りにかつて菖蒲園があり賑わいを見せていましたが、昭和58年に菖蒲全株(約6千株)が中沢池公園に移植されました。

## 希少植物

からきだの道の散策路でみかける希少植物です。群落があれば、凛として一輪咲いている花もあり、散策する人々にひとときの癒しと憩いを与えてくれます。

他にも絶滅危惧植物に指定されているタマノカンアオイなども比較的多く自生しています。これらの希少植物は土中の菌との共生関係があり一般的に移植不可能です。自然の中で見守るか写真を撮るにとどめてください。

### キンラン



花色の黄色が林の中で金色に輝いて見えることから付けられました。(花期:4~5月)

### ギンラン



キンランに対比して花色の白色を銀色に見立てて付けられました。(花期:4~5月)

### タツナミソウ



北斎の名画の波のように同じ方向に花が立つことから付けられました。(花期:5~6月)

### ジュウニヒトエ



一本の花茎に花が重なって咲く姿を十二単に見立てて付けられました。(花期:4~5月)

### フデリンドウ



二年草で花を閉じた状態が筆の穂先に似ていることから付けられました。(花期:4~5月)

### 一口メモ⑥

タマノカンアオイは「多摩」で発見。常緑なので「寒」、葉が「葵」に似ていることが名前の由来です。

### 一口メモ⑦

ササバギンランも自生していますがササに似た葉が花序より高いことでギンランと見分けできます。

## 蝶類 野鳥

からきだの道とその周辺でみかける蝶類と野鳥について、昆虫博士で、野鳥にも深い興味と見識をお持ちの、唐木田在住 篠永 哲先生に話を伺いました。

からきだの道でこんなに多く蝶が観察できるとは！

	時期	場所
ベニシジミ、ヤマトシジミ、モンシロチョウ、スジグロシロチョウ、キチョウ	春~秋	明るい所
ツマキチョウ、ミヤマセセリ、コツバメ	4月中~5月	榎戸公園、砦山
ムラサキシジミ、ムラサキツバメ、ダイミョウセセリ、コムスジ、テングチョウ、ゴマダラチョウ、アカホシゴマダラ、カタテハ、アカタテハ、ルリタテハ、ヒオドシチョウ、ウラギンシジミ、アオスジアゲハ	4月中~11月	明るい所
	※発生時期は種によって異なる	
ミズイロオナガシジミ、アカシジミ、ウラナミアカシジミ	6月下~7月中	榎戸公園、砦山
イチモンジセセリ、ウラナミシジミ、アサギマダラ、ツマグロヒョウモン	7月~10月	明るい所
キマダラヒカゲ、クロヒカゲ、ヒメウラナミジャノメ	6月~10月	林内の薄暗い所
ジャノメチョウ	7月~8月	入口広場
アゲハ、クロアゲハ、キアゲハ	4月~10月	住宅地内に多い



篠永先生がからきだの道で採集された蝶の一部

(左上)アカタテハ (右上)ルリタテハ (左下)アカシジミ (右下)ミズイロオナガシジミ

## からきだの道の鳥たち

4月下旬、鳥の繁殖期に入ると雄鳥のなわばりを示す鳴き声が聞こえてきます。最もよく聞こえるのはウグイスでしょう。シジュウカラとヤマガラもあちこちで見られます。大声で鳴いているのはガビチョウ、中国から輸入したのが逃げて繁殖したものです。

街中に出没してすっかり街の鳥になっているキジバトの大きな声も聞かれます。ヒヨドリとムクドリもよく見かけます。

砦山の後ろの藪の中ではコジュケイがチョットコイとわめいています。コゲラは小さなキツツキの仲間です。樹の幹をたたきながら移動しているのが観察されます。冬の間群れていたメジロもどこかで巣作りを始めたようです。

5月半ばになるとホトトギスの声も聞こえてきます。冬には北海道で繁殖したアオジが南下してきます。その他、ジョウビタキ、ツグミなどがロシアや中国北部からやってきて冬越しします。

(篠永 哲)

## 植物ごよみ

## 多彩な植物

からきだの道の植生分布とランドマークとなる独立樹、季節彩る植物一覧を示します。

### 一口メモ④

かつてこの辺りは目簾(めかい)の民具の生産地で、材料となる篠竹も豊富にあり多くの農家は農閑期に家族で作っていたそうです。

### 一口メモ⑤

地上から1.3mの位置で幹周3m以上が巨樹とされていますが、からきだの道において砦山にあるソメイヨシノが唯一の巨樹です。

ソメイヨシノ(巨樹) ホオノキ(大木)



### ツツジ

### ソメイヨシノ(並木)

### コナラ

### シラカシ

### コナラ

### モウソウチク

### アジサイ

### クヌギ

### モウソウチク

### ウメ

月	花木(開花を始める時期)	主な歳時
1	ツバキ、ウメ	1日 初日の出参り(尾根の径) 14日 どんと焼き(唐木田公園) 下旬 ダイヤモンド富士観測(砦山)
2	タチツボスミレ、オオイヌノフグリ	
3	シダレザクラ、ソメイヨシノ、アオキ、オオバヤシャブシ、クヌギ、コナラ、ケヤマハンノキ、トサミズキ	上旬~ 希少植物鑑賞(全域) 下旬 お花見(全域)
4	ヤマザクラ、オオシマザクラ、ヤエザクラ、アマノガワ、モミジイチゴ、カジイチゴ	上旬 お花見(全域) 中旬 タケノコ掘り体験会(竹林)
5	ツツジ、ウワミズザクラ、ミズキ、ライラック、エゴノキ、アベリア、ナンキンハゼ、ミヤマナルコユリ、カエデ・モミジ	
6	ガクアジサイ、ホンアジサイ、ヤマボウシ、クチナシ、アカメガシワ、オオタニウツギ、ハコネウツギ、ヤマユリ、ヤブレガサ、クサギ、リョウブ、トウネズミモチ、シナノキ	中旬~ アジサイ観賞(あじさい坂)
7	オニユリ	上旬~ 昆虫採集(カブトムシなど)
8	ハギ	下旬 すもまつり(李久保公園)
9	シロダモ	
10	サザンカ	上旬 紅葉狩り(全域) 中旬 ダイヤモンド富士観測(砦山)
11	スイセン、ツワブキ	
12		

